

消防設備にも寿命があります

直近で弊社のお客様の自動火災報知設備の電源関係のトラブルが2件発生しました。どちらも大規模な物件に設置されているR型受信機でした。原因はスイッチング電源の劣化による故障による電源供給の停止でした。

R型受信機など電子機器部品を多く使用している商品の中には、電池・スイッチング電源などの有寿命部品も使用されています。これらは、一般の電気機器と同様に設置後の時間経過とともに劣化・摩耗します。部品業界・部品メーカーでは、劣化・摩耗の期間が短い部品について寿命年数や交換時期を定めており、寿命年数が約3~6年の部品を「定期交換部品（有寿命部品）」と定め、注意を喚起しています。R型受信機を設置されておられるお客さまにおかれましては、『有寿命部品』の定期更新についてご検討をお願いします。

また、その他の消防設備につきましても、各工業会のサンプル調査などより更新の目安となる期間が提示されています。長期修繕計画の一つの参考資料としてお役立て下さい



自動火災報知設備 (更新の目安となる期間)			(社団法人日本火災報知機工業会資料に依る)		
機器名	期間	機器名	期間	機器名	期間
受信機	~20年	スイッチング電源	~5年	EL(ディスプレイ)	~5年
R型受信機	~15年	無停電電源装置(UPS)	~6年	ハードディスク	~4年
発信機	~20年	ニッカド(蓄電池)	~5年	フロッピーディスクドライブ	~5年
煙式感知器	~10年	シール鉛(蓄電池)	~3年	冷却ファン	~3年
熱式感知器	~15年	CRT(ディスプレイ)	~3年	プリンター	~5年
熱式感知器(半導体式)	~10年	LCD(液晶)(ディスプレイ)	~5年	有寿命部品 (赤枠内)	
地区音響装置	~20年	プラズマ(ディスプレイ)	~5年		

水・泡系消火設備 (更新の目安となる期間)			(社団法人日本消火装置工業会資料に依る)		
機器名	期間	機器名	期間	機器名	期間
閉鎖型 スプリンクラーヘッド	18~20年	消火栓開閉弁	18~20年	予作動式流水検知装置	17~20年
感知用ヘッド	8~10年	泡消火薬剤貯蔵槽	18~20年	ポンプ	18~20年
たん白泡消火剤	8~10年	フォームヘッド	17~20年	ポンプ制御盤	18~20年
水成膜泡消火剤	8~10年	一斉開放弁	17~20年	ジョッキポンプ (補助加圧装置)	18~20年
合成界面活性剤 泡消火剤	13~15年	湿式流水検知装置	18~20年	コンプレッサー	17~20年
送水口	18~20年	乾式流水検知装置	17~20年	炭素鋼鋼管(白)	20~25年

ガス・粉末系消火設備 (更新の目安となる期間)		(社団法人日本消火装置工業会資料に依る)			
機器名	期 間	機器名	期 間	機器名	期 間
不活性ガス貯蔵容器、容器弁※1	18～20年	起動用ガス容器、容器弁※1	18～20年	放出表示灯	18～20年
ハロゲン化物貯蔵容器、容器弁※1	18～20年	起動用ガス容器弁開放装置 電気式	18～20年	制御盤 リレー式	17～20年
容器弁開放装置 電気式	18～20年	起動用ガス容器弁開放装置 ガス式	18～20年	制御盤 電子式	13～15年
容器弁開放装置 ガス式	18～20年	選択弁	18～20年	蓄電池設備 鉛	4～5年
放出弁開放装置(粉末) 電気式	18～20年	選択弁開放装置 電気式	18～20年	蓄電池設備 鉛シール	2～3年
放出弁開放装置(粉末) ガス式	18～20年	選択弁開放装置 ガス式	18～20年	蓄電池設備 ニッカド	4～5年
圧力計	8～10年	配管安全装置	18～20年	蓄電池設備 アルカリ	10～12年
粉末貯蔵容器、容器弁、放出弁 蓄圧式	18～20年	閉止弁	18～20年	蓄電池設備充電部	13～15年
粉末貯蔵容器、容器弁、放出 加圧式	18～20年	手動起動装置	13～15年	噴射ヘッド	18～20年
定圧作動装置(粉末)	18～20年	銅管(連結管)	13～15年	移動式(粉末・ガス) 消火設備	16～20年
圧力調整器(粉末)	17～20年	フレキ(連結管)	18～20年	炭素鋼鋼管	20～25年
粉末消火薬剤	8～10年	音声警報装置 テープ式	13～15年		
加圧用ガス容器、容器弁※1	18～20年	音声警報装置 電子式	13～15年		

※1 高圧ガス保安法に基づく容器再検査に合格後、更に不活性ガス容器弁耐圧点検に合格後、継続使用可能、(社団法人日本消火装置工業会資料に依る)



「春、匂う」